

市内経営動向調査

平成28年10月～12月期（第3四半期）

- ① 調査の時期 平成29年1月 ② 調査の期間 平成28年10月～12月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 140社（回答率50.0%）
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、
業界の景況感、前年同期比売上動向（H27.10月～12月）、前年同期比採算動向
（H27.10月～12月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種

全業種では、全ての調査項目において改善した。
前回まで依然として熊本震災の影響を悪化要因とする声があり、DI値も低調な数値が続く等、業況改善の動きは力強さを欠いていたが、今回全ての調査項目において回復の動きとなった。しかし、消費低迷が続く中、人手不足による受注機会損失や外部環境の変化による受注減少といった声も寄せられ、先行き是不透明感が強い。他に経営上の問題・課題として、技術の伝承や人材育成、頻繁な法制度の変更への対応、県北地区の物件の少なさ、為替レートの変動を懸念する声もあり、外部環境の好転による業況の完全回復に期待したい。

○佐世保市内の景況感

DI値は、全ての業種において改善した。
前回調査に続いて、全ての業種で改善が見られ回復の兆しが窺えるが、他の調査項目では一進一退の動きが見られるため、先行きも慎重な見方が続く。全国的には改善傾向にあるが、新米大統領の政策の影響や消費低迷の長期化、人手不足の影響拡大等、先行き不透明感を懸念する声は多く、今後の動向に注視が必要である。

○市内業界の景況感

DI値は、全ての業種において改善した。
前回までは足踏み状況が続いていたが、今回は全ての業種において回復の兆しが窺える結果となった。
前回大きく改善に転じた製造業では、『良い』と回答した企業が9.1%増加し、▲20.8（前回比+10.3ポイント）と2期連続改善した。また建設業では、『悪い』と回答した企業が20.2%減少し、▲18.4（前回比+23.0ポイント）と全ての業種の中で最も大きく改善した。

○前年同期比の売上動向









































DI値は、建設業、卸・小売業において改善したものの、製造業、サービス業において悪化した。
前回5年ぶりとなる全業種で最も低い数値であった建設業は、業界の景況感に比例し、▲15.8（前回比+30.6ポイント）と全ての業種の中で最も大きく改善に転じた。また、3期連続で悪化していた卸・小売業では、▲23.2（前回比+20.7ポイント）と改善に転じた一方、製造業では4期連続で悪化しており、今後の動向に注視が必要である。

○前年同期比の採算動向

DI値は、建設業、卸・小売業において改善したものの、製造業、サービス業において悪化した。
依然として、人手不足の影響拡大による労務費の上昇や価格競争を問題視する声が寄せられた。
全国的にも人手不足や人件費の上昇が足かせとなる中、消費低迷の長期化や円高進行による受注減の声が聞かれるため、先行きが見通しづらく今後の動向が注視される。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 28.0				全業種 DI値 ▲ 33.3				全業種 DI値 ▲ 20.9				全業種 ▲ 25.5			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	2.16%	2.2	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	2.16%	2.2	2.良い	6	4.35%	4.4	2.やや増加	22	15.83%	15.8	2.やや好転	14	10.14%	10.1
3.普通	94	67.63%	67.6	3.普通	80	57.97%	57.9	3.変わらない	60	43.17%	43.1	3.変わらない	75	54.35%	54.3
4.悪い	40	28.78%	28.8	4.悪い	50	36.23%	36.2	4.やや減少	41	29.50%	29.5	4.やや悪化	39	28.26%	28.3
5.大変悪い	2	1.44%	1.4	5.大変悪い	2	1.45%	1.5	5.減少	13	9.35%	9.4	5.悪化	10	7.25%	7.3
建設業 DI値 ▲ 18.4				建設業 DI値 ▲ 18.4				建設業 DI値 ▲ 15.8				建設業 DI値 ▲ 18.4			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.63%	2.6	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.63%	2.6	2.良い	3	7.89%	7.9	2.やや増加	4	10.53%	10.5	2.やや好転	2	5.26%	5.3
3.普通	29	76.32%	76.4	3.普通	25	65.79%	65.8	3.変わらない	22	57.89%	58.0	3.変わらない	27	71.05%	71.0
4.悪い	7	18.42%	18.4	4.悪い	9	23.68%	23.7	4.やや減少	7	18.42%	18.4	4.やや悪化	5	13.16%	13.2
5.大変悪い	1	2.63%	2.6	5.大変悪い	1	2.63%	2.6	5.減少	4	10.53%	10.5	5.悪化	4	10.53%	10.5
製造業 DI値 ▲ 20.0				製造業 DI値 ▲ 20.8				製造業 DI値 ▲ 20.0				製造業 DI値 ▲ 28.0			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	2	8.00%	8.0	2.良い	3	12.50%	12.5	2.やや増加	4	16.00%	16.0	2.やや好転	2	8.00%	8.0
3.普通	16	64.00%	64.0	3.普通	13	54.17%	54.2	3.変わらない	12	48.00%	48.0	3.変わらない	14	56.00%	56.0
4.悪い	7	28.00%	28.0	4.悪い	8	33.33%	33.3	4.やや減少	7	28.00%	28.0	4.やや悪化	7	28.00%	28.0
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	2	8.00%	8.0	5.悪化	2	8.00%	8.0
卸・小売業 DI値 ▲ 36.8				卸・小売業 DI値 ▲ 48.8				卸・小売業 DI値 ▲ 23.2				卸・小売業 DI値 ▲ 18.4			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	5.13%	5.1	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	8	20.51%	20.5	2.やや好転	7	18.42%	18.4
3.普通	24	63.16%	63.2	3.普通	20	51.28%	51.2	3.変わらない	10	25.64%	25.6	3.変わらない	17	44.74%	44.8
4.悪い	13	34.21%	34.2	4.悪い	18	46.15%	46.2	4.やや減少	18	46.15%	46.2	4.やや悪化	13	34.21%	34.2
5.大変悪い	1	2.63%	2.6	5.大変悪い	1	2.56%	2.6	5.減少	1	2.56%	2.6	5.悪化	1	2.63%	2.6
サービス業 DI値 ▲ 34.2				サービス業 DI値 ▲ 40.5				サービス業 DI値 ▲ 24.3				サービス業 DI値 ▲ 37.8			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	6	16.22%	16.2	2.やや好転	3	8.11%	8.1
3.普通	25	65.79%	65.8	3.普通	22	59.46%	59.5	3.変わらない	16	43.24%	43.3	3.変わらない	17	45.95%	46.0
4.悪い	13	34.21%	34.2	4.悪い	15	40.54%	40.5	4.やや減少	9	24.32%	24.3	4.やや悪化	14	37.84%	37.8
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	6	16.22%	16.2	5.悪化	3	8.11%	8.1

市内経営動向調査 平成 28 年度第 3 四半期（平成 28 年 10 月～12 月）D I 景況感 ※DI 値は平成 28 年第 2 四半期（平成 28 年 7 月～9 月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲42.1 ⇒ ▲28.0 ↗  ⇒  ↑	DI ▲44.4 ⇒ ▲33.3 ↗  ⇒  ↑	DI ▲31.7 ⇒ ▲20.9 ↗  ⇒  ↑	DI ▲36.0 ⇒ ▲25.5 ↗  ⇒  ↑
建設業	DI ▲41.5 ⇒ ▲18.4 ↗  ⇒  ↑	DI ▲41.4 ⇒ ▲18.4 ↗  ⇒  ↑	DI ▲46.4 ⇒ ▲15.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲53.7 ⇒ ▲18.4 ↗  ⇒  ↑
製造業	DI ▲40.0 ⇒ ▲20.0 ↗  ⇒  ↑	DI ▲31.1 ⇒ ▲20.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲13.4 ⇒ ▲20.0 ↗  ⇒  ↓	DI ▲20.6 ⇒ ▲28.0 ↗  ⇒  ↓
卸・小売業	DI ▲48.7 ⇒ ▲36.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲53.6 ⇒ ▲48.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲43.9 ⇒ ▲23.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲30.0 ⇒ ▲18.4 ↗  ⇒  ↑
サービス業	DI ▲36.4 ⇒ ▲34.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲48.5 ⇒ ▲40.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲15.2 ⇒ ▲24.3 ↗  ⇒  ↓	DI ▲34.3 ⇒ ▲37.8 ↗  ⇒  ↓



DI100～81



DI80～41



DI40～11



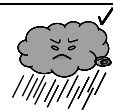
DI10～▲10



DI▲11～▲40

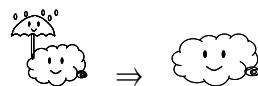


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↗ (平成 21 年度第 1 四半期～平成 28 年度第 3 四半期の傾向)



↑ (平成 28 年度第 2 四半期と平成 28 年度第 3 四半期との比較)

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」2.2% (0.7%)、「普通」67.6% (56.5%)、「悪い」28.8% (39.3%)、「大変悪い」1.4% (3.5%) となり、DIは▲28.0 (▲42.1) と14.1ポイント改善した。業種別DIでは、全業種においてプラスに作用した。

② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0%)、「良い」4.4% (2.1%)、「普通」57.9% (51.4%)、「悪い」36.2% (43.7%)、「大変悪い」1.5% (2.8%) となり、DIは▲33.3 (▲44.4) と11.1ポイント改善した。業種別DIでは、全業種においてプラスに作用した。

③ 前年同期（平成27年10月～12月）比の売上動向について

「増加」2.2% (2.1%)、「やや増加」15.8% (13.1%)、「変わらない」43.1% (37.9%)、「やや減少」29.5% (29.0%)、「減少」9.4% (17.9%) となり、DIは▲20.9 (▲31.7) と10.8ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、卸・小売業でプラスに作用し、製造業、サービス業ではマイナスに作用した。

④ 前年同期（平成27年10月～12月）比の採算動向について

「好転」0% (2.8%)、「やや好転」10.1% (7.7%)、「変わらない」54.3% (43.0%)、「やや悪化」28.3% (34.5%)、「悪化」7.3% (12.0%) となり、DIは▲25.5 (▲36.0) と10.5ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、卸・小売業でプラスに作用し、製造業、サービス業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中38社、回答率48.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.6% (2.4%)、「普通」76.4% (53.7%)、「悪い」18.4% (39.0%)、「大変悪い」2.6% (4.9%) となり、DIは▲18.4 (▲41.5) と23.1ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」7.9% (4.9%)、「普通」65.8% (48.8%)、「悪い」23.7% (43.9%)、「大変悪い」2.6% (2.4%) となり、DIは▲18.4 (▲41.4) と23.0ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.6% (2.4%)、「やや増加」10.5% (7.3%)、「変わらない」58.0% (34.2%)、「やや減少」18.4% (31.7%)、「減少」10.5% (24.4%) となり、DIは▲15.8 (▲46.4) と30.6ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (2.4%)、「やや好転」5.3% (0%)、「変わらない」71.0% (41.5%)、「やや悪化」13.2% (43.9%)、「悪化」10.5% (12.2%) となり、DIは▲18.4 (▲53.7) と35.3ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事を含む受注の増加などの回答があった。

悪化要因では、公共工事を含む受注数、受注額の減少、人手不足により入札への参加ができなかったなどの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注増加などの回答があった。

悪化要因では、売上の減少や受注金額の低下、他業者や量販店との競合などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足（若年層、技術者）や、技術の伝承、従業員教育、安全意識、社員の年齢構成を問題視する声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中25社、回答率39.0%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」8.0% (0%)、「普通」64.0% (60.0%)、「悪い」28.0% (33.3%)、「大変悪い」0% (6.7%) となり、DIは▲20.0 (▲40.0) と20.0ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」12.5% (3.4%)、「普通」54.2% (62.1%)、「悪い」33.3% (27.6%)、「大変悪い」0% (6.9%) となり、DIは▲20.8 (▲31.1) と10.3ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (6.6%)、「やや増加」16.0% (16.7%)、「変わらない」48.0% (40.0%)、「やや減少」28.0% (20.0%)、「減少」8.0% (16.7%) となり、DIは▲20.0 (▲13.4) と6.6ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (10.3%)、「やや好転」8.0% (3.5%)、「変わらない」56.0% (51.8%)、「やや悪化」28.0% (17.2%)、「悪化」8.0% (17.2%) となり、DIは▲28.0 (▲20.6) と7.4ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加や販路拡大による効果などの回答があった。

悪化要因では、受注の減少や為替レートの影響、お歳暮の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

悪化要因では、売上減少や材料費・人件費の高騰、歩留まりの悪化、新工場稼動に伴う経費の増加、円高の影響などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や後継者の育成、温暖化による商品の質の低下を問題視する声が寄せられた。

(卸・小売業) 回答：73社中39社、回答率53.4%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (0%)、「普通」63.2% (51.3%)、「悪い」34.2% (46.3%)、「大変悪い」2.6% (2.4%) となり、D Iは▲36.8 (▲48.7) と11.9ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (0%)、「普通」51.2% (46.4%)、「悪い」46.2% (51.2%)、「大変悪い」2.6% (2.4%) となり、D Iは▲48.8 (▲53.6) と4.8ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」5.1% (0%)、「やや増加」20.5% (12.2%)、「変わらない」25.6% (31.7%)、「やや減少」46.2% (41.5%)、「減少」2.6% (14.6%) となり、D Iは▲23.2 (▲43.9) と20.7ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」18.4% (17.5%)、「変わらない」44.8% (35.0%)、「やや悪化」34.2% (40.0%)、「悪化」2.6% (7.5%) となり、D Iは▲18.4 (▲30.0) と11.6ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、新規取引先の開拓や単価高の効果、補助金活用による設備投資の効果などの回答があった。
悪化要因では、購買力の低下や天候不順、店舗縮小、和牛高騰に伴う消費者の牛肉離れなどの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、販売価格の見直しや経費圧縮などの回答があった。
悪化要因では、売上減少や原料費の高騰、人件費の増加などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材教育、仕入れ値や経費の増加、頻繁な法制度の変更、県南地区と比較し県北地区の物件の少なさなどを問題視する声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中38社、回答率58.4%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (0%)、「普通」65.8% (63.6%)、「悪い」34.2% (36.4%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲34.2 (▲36.4) と2.2ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (0%)、「普通」59.5% (51.5%)、「悪い」40.5% (48.5%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲40.5 (▲48.5) と8.0ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」16.2% (18.2%)、「変わらない」43.3% (48.4%)、「やや減少」24.3% (18.2%)、「減少」16.2% (15.2%) となり、DIは▲24.3 (▲15.2) と9.1ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」8.1% (9.4%)、「変わらない」46.0% (46.9%)、「やや悪化」37.8% (31.2%)、「悪化」8.1% (12.5%) となり、DIは▲37.8 (▲34.3) と3.5ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、新規顧客の増加や価格改定効果などの回答があった。

悪化要因では、顧客の減少やインバウンドの減少、宴会ニーズの減少、荷動きの減少、他社との価格競争、外部環境の変化などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上の増加や売上単価の上昇などの回答があった。

悪化要因では、売上の減少や仕入価格・経費の増加、時間外手当の増加、客単価の低下などの回答があった。

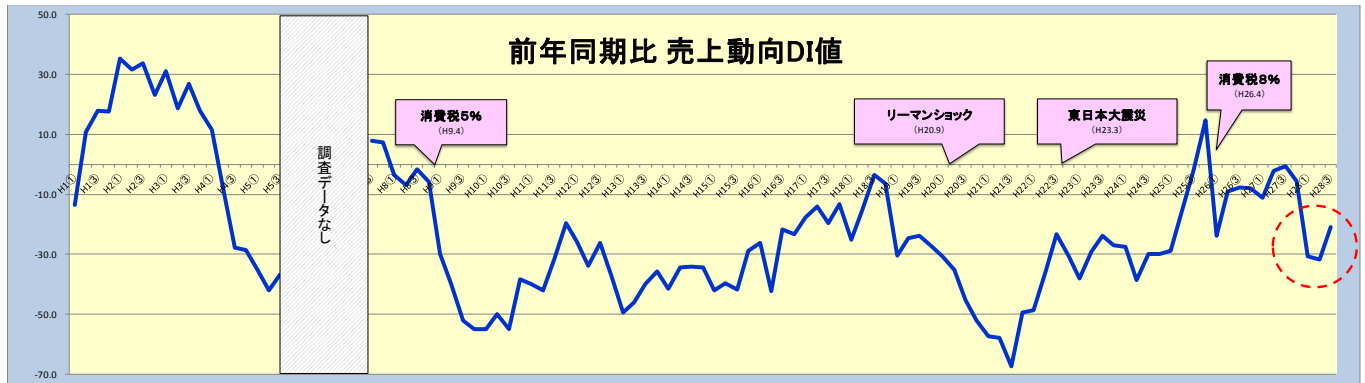
○経営上の問題

人手不足や人材育成などを問題視する声が寄せられた。

以上

平成 28 年度第 3 四半期 経営動向調査表

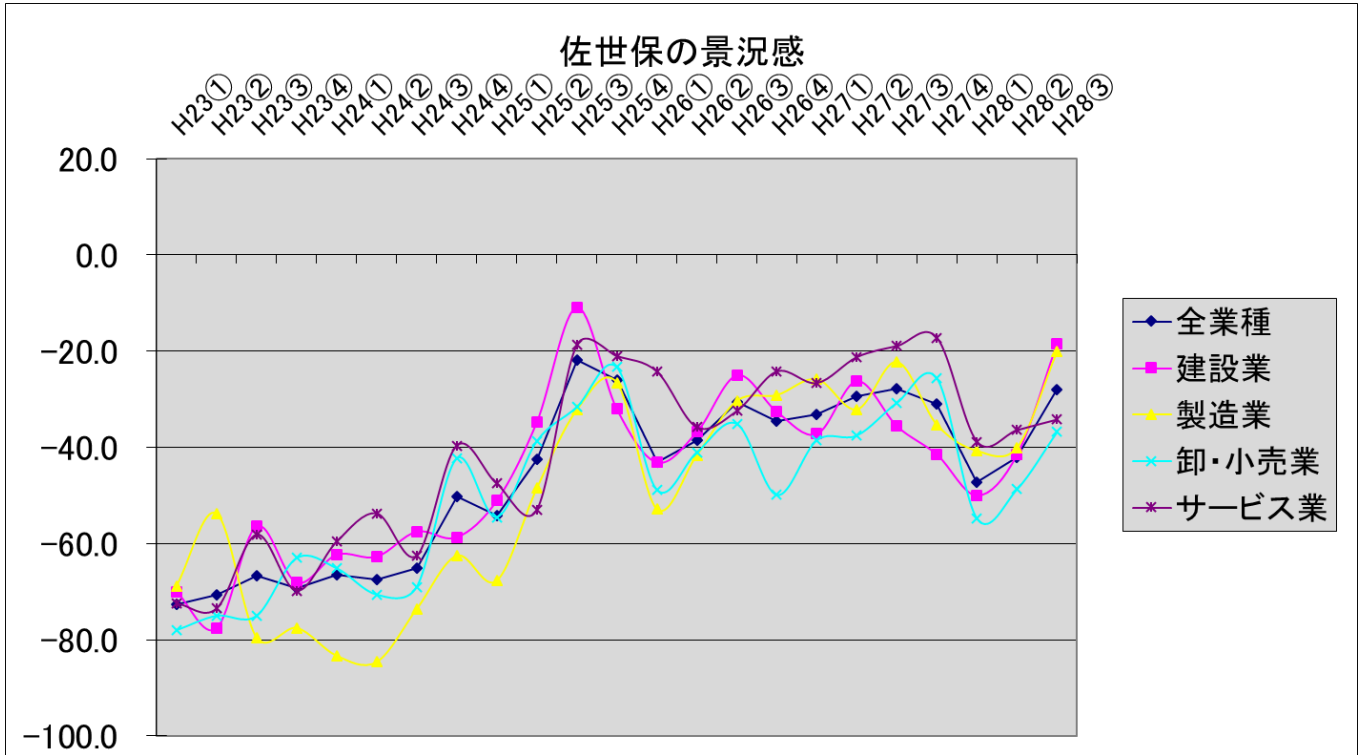
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）】



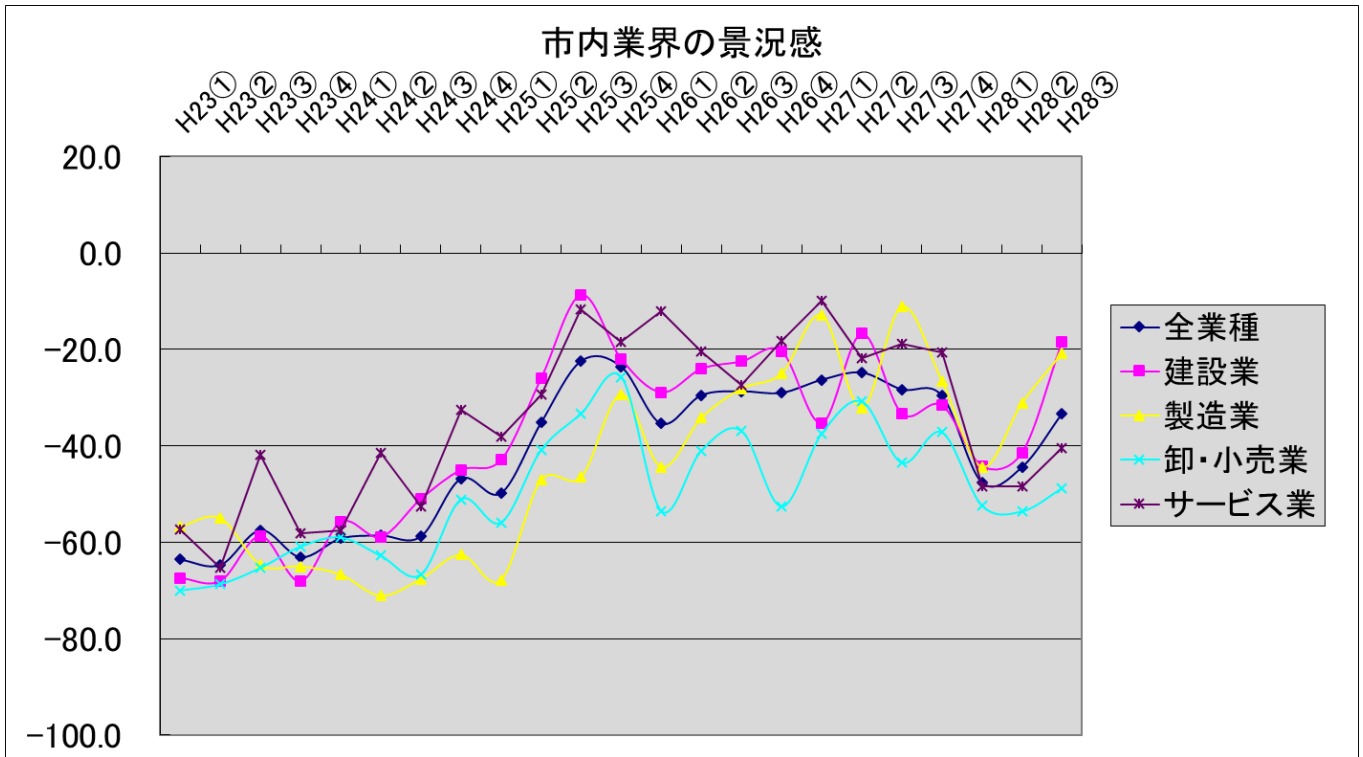
図表 1 - 2 【全業種DI値の推移（平成 21 年～）】



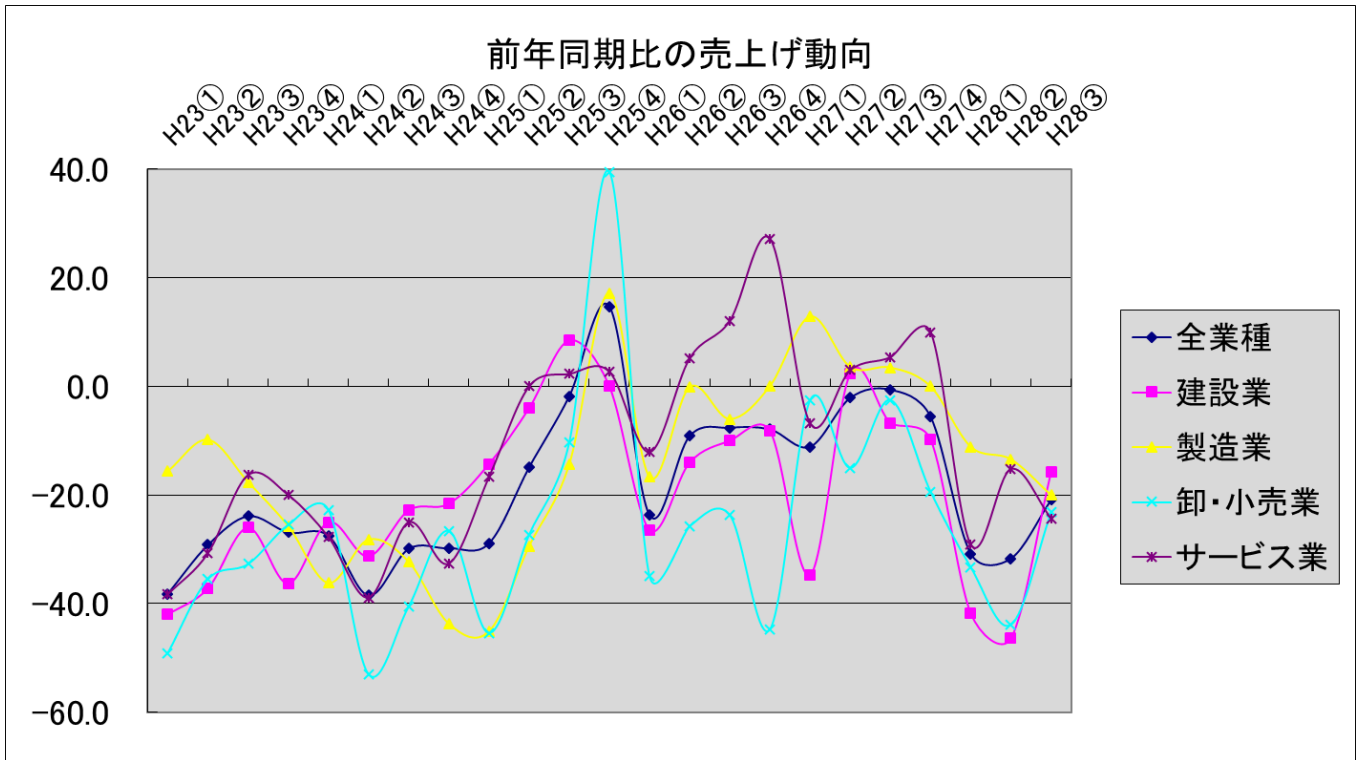
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 23 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 23 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 23 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 23 年～）】

